

平成29年度事業計画について

これまで長い間増加傾向にあった、日本の総人口は、平成20年（2008年）をピークに長期的な減少局面に移行しています。武蔵台団地においても、少子高齢化は避けられない現実となり、空家や一人暮らしの世帯も増えてきました。高齢化率は（平成28年10月現在）45.4%になり、あと2～3年で50%を越える超高齢化団地の状況となってまいります。

社会環境や生活環境は昔とは大きく変わり、心身ともに元気な人も飛躍的に伸び、実年齢を感じさせない高齢者も多くおられますが、ややもすれば実年齢に天井を覆いかぶせてしまい、自ら行動範囲を狭くしがちとなり、健康寿命をおのずと低下させてしまいます。

これからは健康づくりにも目を向けながら、従来から行っている自治会活動の取組みを継承しつつ、高齢化の現実を直視し安心して安全に暮らせる街、将来の団地像を「笑顔と元気を未来につなぐ、地域福祉のまち武蔵台」として、その実現をめざし活動をしてまいります。

2. 1. 1 自治会全体が関わる事項



(1) 住民の「足」移送サービスの実現

武蔵台を終の場所と考えている方は大勢おられます。しかし車なしでは生活が不便となることから、高齢になっても無理をしながらいつまでも運転を続けることは大変なことです。

買い物や病院通い、子育て、他にコミュニティー等に誰も自由に移動できる、外出機会の創出を図るために、移送サービスの実現はこれから必要不可欠な課題と捉え、委員会で検討してきました。また、日高市において「日高市地域自主運行事業補助金交付要綱」が制定されたのを受け、これを活用させていただき今年10月頃を目途に皆様の良き足としてオンデマンドによる移送サービスを実施したいと考えています。

最近が高齢者ドライバーの悲惨な運転事故が毎日のように発生し大きな社会問題となっていることから、高齢者の運転に対する道路交通法改定もあり更に厳しくなります。そうしたことから、免許証の自主返納やお悩みの方も増えて来ることが予想されます。このままの状態を放置すれば移動困難者はますます増え、中には長年住み慣れたこの地を離れ便利な所に移住を考えざるをえなくなるのは目に見え、更に人口減少や空家の増加に歯止めがかからなくなります。

移送サービス実施後は、初めてのことであり色々試行錯誤もあるかと思いますが、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(2) 住民相互のつながりを深める取り組み

自治会活動では色々なイベント・行事を行っています。住民一人一人が顔見知りになり絆を育み合える機会を作る場として大切な活動の取り組みです。「遠い親戚より近くの他人」と言われているように同じ地区で生活をしている私たちは、お互いに顔見知りになり、どんな時でもつながり合える自助と共助があつてこそ安心安全な町が形成されるものと考えます。また、行事一つ一つにも深い意味が込められています。先人たちが築き上げた歴史や文化も大切な私たちの宝です。地域の皆さんが一体となり、少子高齢化の進むなか会員皆さんの意見も聞きながら無理無駄をなくし良い方法を役員会で検討し進めてまいります。

29年度自治会主体の主な行事予定

- 1 夏祭り 8月5日（土） 中の田公園広場
- 2 防災訓練 8月27日（日） 日高市合同訓練



- 3 体育祭 9月 24日（日） 武蔵台小学校グラウンド
- 4 日帰りバス旅行 10月 目的地検討中
- 5 新春の集い（交通祈願祭） 1月 14日（日） ショッピング広場

（3）自治会館の補修と増築

平成5年に建てられた自治会館は風雪をしのぎ24年が経ちます。各種会合や趣味のサークル活動、会員はじめ来客の窓口業務として幅広く活用されていますが、屋根の劣化や外装のひび割れによる雨漏れから内装の傷みと汚れも進んできました。また、利用上の不具合も出始めていますので、会館の延命化対策として修繕とコミュニティー会場としての使い勝手改善として一部増床工事を実施いたします。（これについては第3号議案として提案しています。）

（4）健康づくりが出来る街づくり

① 長生きの指標となる「平均寿命」については多くの人が知っていますが、「健康寿命」についてはあまり知られていません。これからの高齢化社会にとって重要なのは「平均寿命」よりもむしろ「健康寿命」の方なのです。「健康寿命」とは、健康で生きられる寿命のことを指します。寝たきりになったり、介護が必要となる状態ではなく自立して健康に生活できる年齢を「健康寿命」と言います。

日本人の平均寿命は男性で80.74歳、女性は87.05歳ですが健康寿命は男性70.4歳、女性73.6歳という統計数字が厚労省から出ています。その差男女ともに10年間は健康でない期間があるということであります。長生きしても健康でなければ幸福とは言えません。自治会では健康寿命を延ばす取り組みの一つとして昨年「くりくり元気体操」を実施いたしました。参加者から体を動かし筋肉の衰えを防げたり、仲間同士のコミュニケーションが弾み、張り合いが生まれ精神的に充実できるので続けて欲しいという声が多くありましたので今年も継続したいと考えています。

② 生涯、健康に勝るものはございません。自分の健康状態を知る上にも最低でも年に一回無料の特定検診を受けていただくように受診喚起に向けた啓発活動もしてまいります。平成27年度速報値で日高市における特定健康診断の受診率は全体で45.3%ですが、武蔵台においては44.59%で平均値を若干下回っていますが増加傾向です。

	平成26年度			平成27年度			対前年比受診率	
	対象者（人）	受診者（人）	受診率	対象者（人）	受診者（人）	受診率	受診者（人）	ポイント
1丁目	338	149	44.08	346	157	45.38	8	1.30
2丁目	269	96	35.69	255	105	41.18	9	5.49
3丁目	300	113	37.67	304	129	42.43	16	4.76
4丁目	136	55	40.44	149	72	48.32	17	7.88
5丁目	330	128	38.79	327	145	44.34	17	5.55
6丁目	99	38	38.38	102	48	47.06	10	8.68
7丁目	180	71	39.44	190	90	47.37	19	7.93
合計	1,652	650	39.35	1,673	746	44.59	96	5.24

*対象者とは受診券発送者数

（5）地域の誰でも気楽に挨拶ができる街づくり

挨拶は人と人との結びつきの第一歩であるはずですが、最近では防犯面から子供に見知らぬ人から声をかけられても挨拶をしないようにと教えている保護者もいるようです。

また、挨拶をしても返事が返ってこないの言い損になり気分が悪いということで、ある団地やマンションでは挨拶をしないようにしようということが決議されたという報道がありました。

確かに一部言い分があるにしても、少し考えさせられる問題ではないでしょうか。同じ団地に住んでいて顔が合い、お互いに挨拶するだけでも気持ちが良いものです。どこかでまた必ず同じ人と再会するものです。その積み重ねが良い人間関係を形成していくものと考えます。

武蔵台においては学校や青少年健全育成の会などで挨拶運動に力を注いでいますので、自治会でも挨拶こそ人間関係の原点と捉え運動を推進してまいります。

(6) 会員と自治会本部の意思疎通の円滑化を図る取り組み

会員相互の親睦を図りながら、快適で安全な環境のもとで生活を送ることが出来るように、また、会員全体の利便に対処できるように、会員さんはじめ班長さんからの情報を地区長さんを介し定例役員会で検討を行い、取捨選択し武蔵台だよりや回覧文書、掲示物でフィードバックしていますが、紙面制約もあり充分とはいかない面も多々ありますので、地区長さんや班長さんのご協力を頂き出来るだけ自治会活動の「見える化」に努力し会員との意思疎通を図っていきたいと考えています。

(7) 地域協力団体との連携

武蔵台の中には日常生活でのお困り事などを行政とのパイプ役として相談相手になってくれる民生委員の方や、地域福祉の推進に活動をされている武蔵台福祉ネット並びにお助け隊、子供の育成を親身に見守ってくれる青少年健全育成の会や小中PTA関係他、住民の健康促進活動を担う体育協会等々多くのボランティア団体が積極的に活動されています。

お互いに連携を密に協働して活力ある地域福祉のまちづくりに取り組んでいきます。

具体的な取組

民生委員との連携

災害時要支援者の避難誘導の確立

防犯パトロールの応援

福祉ネットとの連携

自治会として可能なサポートの推進

オレンジカフェの活性化協力

くりくり元気体操の普及と拡大

合同サロン開催検討

ショッピング広場活性化に向けた検討

武蔵台横手台地区青少年

薬物乱用防止キャンペーンの参加

健全育成の会

挨拶運動の推進協力

学校・PTA

武蔵台中学校 30 周年行事に向けて協力

武蔵台・横手台地区体育協会

体育祭・スポーツ競技への参加者増員協力



(8) 地域企業との連携

町内には唯一、日常生活に欠かせないショッピングセンターがありますが、まだまだ昔のような賑わいを取り戻す姿には程遠い状況であります。

商店会では色々と取り組み対策の努力をされています。ショッピングセンター街の賑やかさ

を取り戻せるように、商店会ははじめ福祉ネットや各協力団体と連携し、自治会として何ができるか模索していきます。

また、他に地元には西武鉄道検修センターという大きな企業があります。地域との密着を重視していろいろ協力して頂いていますので、今年も一斉掃除への参加や恒例の鉄道フェスタへの囃子連参加、小中生徒の職場体験などご協力頂けるよう働き掛けを進めていきます。

(9) 安全と環境への取り組み

①安全への取り組み

ア 防災関係

台風や地震さらには火災による大きな被害が毎年全国各地で発生しています。

何処で何時何が起きるかわかりません。備えあって憂いなしという言葉は昔も今も変わりません。絵に描いた餅にならないよう現実味のある自主防災組織の見直しを検討致します。

昨年行われた日高市全体の防災訓練は、今年も予定されていますので、昨年よりも一人でも多く参加いただけるように啓発活動をしてまいります。

イ 防犯関係

特殊詐欺(振り込み詐欺等)は形を色々変え横行し被害に遭う人が今だ減っていません、また、空き巣はじめ不審者の出没や詐欺まがいの悪質な勧誘など会員さんからの情報提供があった時には、状況に応じ住民の皆様へ注意喚起に向けて情報提供できるように努めていきます。自治会では今年も引き続き年金支給日に安全対策部が郵便局前に立ち、振り込み詐欺防犯街頭キャンペーンを実施いたします。

防犯対策は何とんでも住民一人一人の目配り気配りに勝るものはありません。普段から隣近所とのコミュニケーションを高めて頂く事が大切と考えます。

ウ 交通対策への取り組み

団地内を経由する大型車や一般車両が非常に多くなり速度超過や騒音、振動、道路横断時の不安等日常生活を脅かしています。難しい問題ではありますが警察や行政機関へ解決に向け粘り強く取り組んでまいります。

②環境関係

ダストボックスは便宜上住宅と隣接して設置されているところも多くあり、美観と衛生面で特に気を付けなければなりません。快適に使って頂けるように一人一人がゴミ出しルールを守って大切に使用しましょう。今年も不備なところを計画的に修理していきます。

定期的な団地内一斉掃除は皆様方のご協力により、常に綺麗な状態で他に誇れる美しさを保持されているといっても過言ではありません。街並みが整然と保たれている環境は地域住民の結束力を物語り、犯罪者に隙を見せない抑止力にもつながっていることは間違いありません。今年も引き続きご協力を頂き一斉掃除を行ってまいります。年4回計画しておりますが、昨年実施した12月の状況を精査し回数の見直しについても検討したいと考えています。

家庭ごみの軽減に向けごみの分別に各自ご協力を頂き市全体では目標値に近づいています。更に軽減対策として、家庭枝の回収場を自治会駐車場横に昨年設置しています。遠い方は不便を掛けますが、ごみ軽減に一役担っていますのでルールを守り、できるだけ活用して頂けるようお願いいたします。

自治会所有の草刈機、枝払い用具他各種用意してあります。自治会館事務所にお申し出頂ければ貸し出しができますのでご活用ください。但し、使用時の事故等につきましては責任は負えませんので自己責任となりますことをご了承ください。

(10) 自治会山林の維持管理

毎年秋口にボランティアのご協力を頂いて6丁目自治会所有地山林の下草刈りを5年間実施してきました。土肌が見えていた山も木々が大きく成長し自然の山に戻ってきましたので山林の中の下草刈りはやめ、平地の果樹広場と一部山道脇の草刈りを今年もボランティアの協力を募り実施いたします。

(11) 自治会館の活用

会員の皆様が気持ちよく利用いただけるように、自治会館の修繕と一階の改築を行います。

修理工事期間は何かご不便を掛けますが、業務に支障を来たさぬよう対応をしておりますのでご協力の程よろしくお願い致します。

開館日 月・水・金・土

時間 午前10時～午後3時

*但し土曜日は午前10時～正午まで

会館勤務者 本部役員1名、委託事務員1名が常駐し対応しています(土曜日は委託員1名)

業務内容 会員皆様からの相談や各種手続き他、来館者への対応を行っています。

会館使用申込 所定の手続きをして頂ければ、(会員に限る)曜日、時間に関係なく自由に会館の使用ができます。

使用目的 各種会合(宗教・政治的活動除く)、趣味やサークル活動、冠婚葬祭、他

会館駐車場 来館時に駐車場をご利用下さい。(なお、駐車場内の事故は自治会では責任は負えませんのでご注意ください)

来館以外に駐車場をご使用いただく場合は事務所に申込みいただき、許可証を運転席フロントに見えるように置いてご利用ください。



(12) 広報活動

武蔵台だよりを中心に回覧文書をはじめ掲示物等活用し、自治会活動の様子や地域の情報をわかりやすく適確に伝えられるよう創意工夫をして進めていきます。また、ホームページを活用して活動の見える化に努めていきます。回覧文書等は緊急性の多いことがありますので、遅延をしないよう心掛けていただくようご協力ください。

(13) 行政との関係

武蔵台は「こま武蔵台区」として、行政との窓口は自治会長が区長を兼ねています。日高市全体で80の区(自治会含む)があり、その中で武蔵台が一番大きい区であります。組織として日高市区長会を形成し、区相互間の連絡調整と会員の親睦を図り区民の要望を市政に反映し、市の発展に寄与することを目的として活動しています。

区長業務としては、

① 区長要望の提出

毎年区に於ける改善要望を行政に提出することができます(要望は3件までと決められて

います。)

会員並びに各協力団体から寄せられた地域全体として関わる改善要望について、役員会で取捨選択して今年も提出いたします。

- ② 区長要望のほか会員の皆様から日々寄せられる相談（修理改善等）の案件につきましては自治会で対応できるもの、行政にお願いするものと整理し可能な限り迅速に対応していきます。

- ③ 各種募金活動への協力

会員の皆様はじめご集金の取り纏めを頂く班長の皆様には大変ご苦勞をお掛けしますが、今年も募金の趣旨をご理解いただきご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

みどりの募金（5月）・赤十字社員増強（5月）・社会福祉協議会社資増強運動（7月）・赤い羽根共同募金（10月）・歳末助け合い募金（11月）

- ④ 行政からの各種配布物の対応

広報ひだか等配布は月初に委託員により全戸配布を致します。

- ⑤ 日高市区長会、地区区長会への出席

- ⑥ 市関係機関からの委嘱

社会福祉協議会評議委員・飯能警察防犯委員

- ⑦ 市主催行事への参加・市議会一般質問傍聴

